

★ディスプレイ×ヒューマンインターフェース ★視覚情報処理の基礎からディスプレイにおける人間の視聴覚とは!
★次のディスプレイやモバイル端末に向け、ヒューマンインターフェースを考察する!



最近のディスプレイ技術における 視覚情報処理・ヒューマンインターフェースの最前線

超小型高精細携帯端末の急速な発展、5G移動体通信環境に向けて! / 知覚・認知能力に
どの様な影響を与えているか? / 今後のディスプレイ技術開発へ、視覚心理の新しい知見へ!



日時	2019年6月26日(水) 10:30~16:30	会場	東京・港区芝公園 機械振興会館 地下3F B3-6会議室
受講料	48,600円 ⇒S&T会員 46,170円 ※S&T会員(郵送DM案内あるいはE-mail案内を希望される方)は価格が5%OFFになります。 (定価:本体45,000円+税3,600円 会員:本体42,750円+税3,420円)		資料・昼食付

講師 鹿児島大学 大学院理工学研究科 教授 大塚 作一 氏

趣旨 スマートフォンに代表される最新のディスプレイ技術を搭載した超小型高精細携帯端末の急速な発展には目を見張るものがあり、さらに5Gの移動体通信環境も整備されようとしている。このため、我々は高精細映像を手軽にプライベートに利用可能な環境を常時携帯出来るようになった。この傾向は加速されているが、その陰で若い世代を中心に情報収集・処理能力の著しい低下が相次いで指摘されている(国立情報学研究所、スターンフォード大等)。このため、我々をとりまく視環境の急変が我々の知覚・認知能力にどの様な影響を与えているかを検証し、個人携帯端末利用の在り方をより洗練されたものに改善する必要がある。

本セミナーでは、まず、講演者らの数年間の大学教育現場での実情把握やその他の動向を踏まえて、(1) あらゆる世代がスマートフォンの影響を強かに受けつつあり、その影響は認知能力に止まらず「見え方(視覚特性)」そのものにも及びつつあること、(2) 人間が古来培ってきた「手書きによる詳細なノートへ記録」と「その長期間にわたる振り返り」を実践することによって「大局観と論理的思考能力」の育成がはじめて可能であること、などを示す。つぎに、最近のAR/VRやHDR(ハイダイナミックレンジ)技術に関して講演者が手掛けている視覚特性応用技術について述べる。

- | | |
|---|---|
| <p>プログラム</p> <ol style="list-style-type: none"> 意外と知らない視覚の基礎知識
(あなたはご自分の目を信じられますか?) <ol style="list-style-type: none"> 1.1 視覚情報処理の基礎知識 1.2 両眼立体視と幾何学錯視の関係 最近のディスプレイ技術と人間の環境依存性・個人差の関係 <ol style="list-style-type: none"> 2.1 3Dディスプレイと立体知覚の個人差 2.2 新たに発見された曲面ディスプレイ観視時に発生する錯視と個人差 プライベートな視聴覚情報環境を入手し、常時携帯することによって何が起きているか <ol style="list-style-type: none"> 3.1 聴覚の個人化(1980年代)から視覚の個人化(現在)までの変遷 3.2 有識者の数々の警告 | <ol style="list-style-type: none"> 3.3 国立情報学研究所およびスターンフォード大の調査(2016年) 3.4 ごく最近の変化と講演者の研究結果:物理的な視野の狭窄や注意の欠如 <p>4. 2段階ノート記録法の重要性
(皆さまの一般的な日常業務の改善にも役立ちます)</p> <ol style="list-style-type: none"> 4.1 最近の大学生の思考の変化とノート指導の実践から見えるもの 4.2 他の有識者らの見解との関連性 4.3 2段階ノート記録法の提案 <p>5. 今後のディスプレイ技術開発に資する視覚心理の新しい知見</p> <ol style="list-style-type: none"> 5.1 グローバルトーンマッピングに基づくHDR画像のSDR画像への変換 5.2 2D/3Dフットステップ錯視を例としたAR/VR技術開発に関する注意点 <p>□質疑応答・名刺交換□</p> |
|---|---|

■2名同時申込みで1名分無料■
(1名あたり定価半額の24,300円)

※2名様ともS&T会員登録をさせていただいた場合に限りです。 ※他の割引は併用できません。
※同一法人内(グループ会社でも可)による2名同時申込みのみ適用いたします。
※3名様以上のお申込みの場合、左記1名あたりの金額で受講できます。
※受講券、請求書は、代表者にご郵送いたします。
※請求書および領収書は1名様ごとに発行可能です。(通信欄に「請求書1名ごと発行」と記入ください。)

※講師、プログラムの内容が変更になる場合もございます。最新の情報はHPにてご確認ください。 ※申込用紙が複数枚必要な場合等は、本用紙をコピーしてお使いください。

セミナー申込用紙 A190626 (ディスプレイとHI) P

会社名 団体名			
部署			
役職	〒		
ふりがな	住所		
氏名			
TEL	FAX		
E-mail	※申込みに関する連絡に使用するため、可能な限りご記入ください。		

※太枠の中をご記入下さい。 ※□にチェックをご記入ください。
※E-mailアドレスまたはFAX番号を必ずご記入下さい。

今後のご案内

E-mail希望・登録済み } S&T会員価格を
 郵送希望・登録済み } 適用いたします。
 希望しない } (E-mailアドレス必須)

お支払方法

銀行振込 (振込予定日 月 日)
 当日現金払い

通信欄

●受講料について
「2名同時申込みで1名分無料」については上記の注意事項をお読みください。

●お申込みについて
申込用紙に必要事項をご記入のうえ、FAXでお申込みください。
また、当社ホームページからでもお申込みいただけます。
お申込みを確認次第、請求書・受講券・会場案内図をお送りします。

●お支払いについて
受講料は、銀行振込(原則として開催日まで)、もしくは当日現金にてお支払いください。
銀行振込の場合、原則として領収書の発行はいたしません。
振込手数料はお客様がご負担ください。

●個人情報の取り扱いについて
ご記入いただいた個人情報は、事務連絡・発送の他、情報案内等に使用いたします。
詳しくはホームページをご覧ください。

●キャンセル規定
開催日から逆算(営業日:土日・祝祭日等を除く)いたしまして、
 ・開催7日前以前でのキャンセル: キャンセル料はいただきません。
 ・開催3~6日前でのキャンセル: 受講料の70%
 ・開催当日~2日前でのキャンセル・欠席: 受講料の100%
 ※ご注意※ 参加者が最少催行人数に達しない場合など、事情により中止になる場合がございます。

サイエンス & テクノロジー
 研究・技術・事業開発のためのセミナー/書籍

サイエンス&テクノロジー株式会社
 TEL 03-5733-4188 FAX 03-5733-4187
 〒105-0013
 東京都港区浜松町1-2-12 浜松町F-1ビル7F
<http://www.science-t.com>